

適用規格					
定格	使用温度範囲	-40 °C ~ +105 °C (95 %RH以下)	保存温度範囲	-40 °C ~ +85 °C (95 %RH以下)	
	電力	- W	特性インピーダンス	75 Ω (0 ~ 12 GHz)	
	特殊性	-	使用ケーブル	-	
性能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		-	-
電気的 性能	接触抵抗	100 mA(DC or 1000 Hz)以下で測定する。	中心コネクタ 56 mΩ以下 外部コネクタ 23 mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 200 Vの電圧を 60 秒間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)	絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比 (反射損失)	周波数 0 ~ 3 GHzにて測定する。	VSWR 1.3 以下 (17.7dB以上)	○	-
		周波数 3 ~ 12 GHzにて測定する。	VSWR 1.5 以下 (13.9dB以上)		
	挿入損失	周波数 - ~ - GHzにて測定する。	- dB以下	-	-
機械的 性能	単体挿抜力 (IEC規格)	φ 0.39 ^{+0.005} ₋₀ のサイジングゲージを	挿入力 - N以下	-	-
		1回嵌合後、φ 0.36 ^{+0.005} ₋₀ の鋼製ピンで測定する。(MBNC側)	引抜き力 0.16 N以上	○	-
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿入力 - N以下 引抜き力 - N以上	-	-
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。(MBNC側) 20 回の抜き差しを行う。(D. FL75側)	①接触抵抗: 中心コネクタ 70 mΩ以下 外部コネクタ 34 mΩ以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐振性	周波数 10 ~ 100 Hz, 片振幅 1.5 mm, 加速度 59 m/s ² で 3 軸方向各 5 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
		耐衝撃性			
ケーブルクランプ部 の引張り強度	- mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が 発生するまで引張り, 最大荷重を確認する。	最大荷重 - N以上	-	-	
環境的 性能	温湿度サイクルの 耐湿性	温度 40 °C, 湿度 90 ~ 95 %中に 96 時間放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 500 MΩ以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	温度サイクル	温度 -40 → - → +105 → - °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	電圧定在波比規格を満足すること。	○	-
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
備考				承認 NK. NINOMIYA 検図 MT. KANEKO 担当 YK. KIUCHI 製図 YK. KIUCHI	20231204 20231204 20231204 20231204
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番 SLC-402857-00-01		
HRS	製品規格表		製品名	MBNC (75) J-D. FL75J-BPA2	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0311-0042-0-00	△ 1/1